



環境報告書 2014 年度版



2014 年度活動報告
生活協同組合連合会
大学生活協同組合九州事業連合

発行にあたって

生活協同組合連合会大学生生活協同組合九州事業連合（以下、九州事業連合）は、2003年3月31日にISO14001認証取得をいたしました。私たちは環境に配慮した事業展開を積極的に進めるため、グリーン購入法適用商品の開発や法律への対応を行ってまいりましたが、より具体的な活動を展開していくことを目的にISO14001の認証取得を行いました。

加えて、より多くの仲間と共に環境問題に取り組んでいくため、会員サポートを行い、2004年1月には、群取得により、佐賀大学生生活協同組合、長崎大学生生活協同組合、鹿児島大学生生活協同組合のISO14001認証取得が実現しました。

九州事業連合の事業規模は、物販事業67億円、書籍事業33億円、サービス事業42億円、食堂事業32億円の計174億円余りです。物販事業では文具や食品をはじめ、新生活用品やインターネット事業の展開、書籍事業では書籍以外にスタディガイドや学内講座の展開、食堂事業では全国に先駆けてミールカードの展開などに取り組んでまいりました。

現在では、店舗業務だけでなく学生の就職支援としてキャリアデザインセミナーや独自の就活セミナーなどの取り組みも大きく広がっています。また、学生自身の取り組みも環境小委員会活動として広がり、店舗の商

品内容や学内活動にも影響を与えています。

グリーン購入法適合商品を数多く取り揃える努力をしており、独自に食品添加物ガイドラインを採用し、より厳格な添加物排除を行っています。私たちは、学生や教職員参加の大学生協らしい環境負荷削減を目指して活動しています。

私たちの環境側面の抽出にあたっては、全ての職員（正規及びパート、派遣社員、アルバイト）を対象に作業を行って、日常業務及び取扱商品の中からの環境側面の抽出、同時に日常作業の見直しを行うようにしています。

この報告書では、この1年間（2014年3月～2015年2月）の取り組みについて、主なプログラムの紹介を行っています。

私たちは、より環境マネジメントシステム（EMS）が効率的に適性に運用していく努力をします。環境監査員は正規及びパート職員で構成し、2014年11月時点で30名を育成し、外部から2名の監査員を要請及び受け入れを行っています。また、ISO事務局のスキルアップを目指し、常にEMSの継続的改善をはかります。

専務理事 小林 陸生

環境方針

九州事業連合の環境方針は以下の通りです。

【環境方針】

私たち大学生協九州事業連合は、九州・沖縄の大学生協、インターカレッジコープが加盟・連合する事業連合です。協同で商品の開発、仕入れ、物流などを行うとともに、システムの開発や人事の調整、総務機能での会員支援、九州全体の事業政策などを起案し、会員生協の事業支援を行うことをその役割としています。

私たちは、環境保全のための活動が九州事業連合の事業と活動を支える基礎的な取り組みであるとの認識に立ち、以下の通り、環境負荷の軽減と汚染の予防のための目的・目標を設定し、見直す枠組みを与え、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

- (1) 環境関連の法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- (2) 事業活動において、省エネルギー、省資源をはかり、廃棄物を削減し、再利用、再資源化を進めます。
- (3) 商品選定、商品開発において、原材料の加工から会員生協への納品、廃棄まで可能な範囲で目的及び目標を定め、環境保全活動に取り組みます。
- (4) 食育と健康増進の取り組みを環境保全活動ととらえ推進していきます。
- (5) 会員生協、関係団体、お取引先、公的機関と情報交換し、環境保全活動を推進します。
- (6) 環境保全活動を推進するため、環境マネジメント推進組織を整備し、全職員が活動できるようにします。
- (7) 内部環境監査を実施し、自主管理による環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。
- (8) 環境教育、内外の公表を行い、全職員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります。

===== 環境方針は大学生協内外に広く公表します。 =====

目的・目標

2014年度、私たちは全体で取り組むオフィス編（2項目）と商品関連・その他編（6項目）の計8項目のプログラムを設定し、全役職員の力で取り組んできました。

環境目標（環境マネジメントプログラムより）「オフィス編」		
<p>1. 電力の使用量削減</p> <p>(1) 照明器具の適切な管理による節電</p> <p>(2) エアコンの温度管理による節電</p> <p>(3) パソコン、コピー機等の適切な管理による節電</p>	<p>2. 廃棄物排出量の抑制</p> <p>(1) 手順書に基づく、廃棄物排出量の計測</p> <p>(2) 手順書に基づく、再利用、リサイクルの徹底</p> <p>(3) 廃棄物量、電気使用量をISO掲示板で広報</p>	
環境目標（環境マネジメントプログラムより）「商品関連・その他編」		
<p>3. ペットボトルリサイクル</p> <p>(1) ペットボトルリサイクル率を月次で管理</p> <p>(2) 会員に状況認識と回収率を上げる提案</p> <p>(3) リサイクル実施生協の拡大</p> <p>4. 紙の削減（SEQの利用促進）</p> <p>(1) Web受診を常に呼びかける</p> <p>(2) 就職活動講座でSEQ受診を提案する</p> <p>(3) 大学提案を行い、校費利用の拡大を目指す</p>	<p>5. 食中毒など食品事故の予防</p> <p>(1) 会員生協食堂職員の腸内細菌検査実施</p> <p>(2) 外部機関による食堂施設衛生検査実施</p> <p>(3) 食品衛生学習会・勉強会の実施</p> <p>(4) 会員生協訪問時の食堂施設点検</p> <p>6. 九州産食材の採用</p> <p>(1) 基準を満たす商品、取引先の調査</p> <p>(2) 産地・加工工場の視察調査</p> <p>(3) 新規に5アイテムの採用を目指す</p>	<p>7. 弁当容器リサイクル(塩素系プラスチックの廃棄抑制)</p> <p>(1) 回収率の集約と会員へのフィードバック</p> <p>(2) 会員ごとの取組みを全体で共有する</p> <p>8. 環境に配慮した商品選定</p> <p>(1) 新生活用品である家具製品接着剤について</p> <p>(2) 環境配慮の度合いを利用者に提供</p> <p>(3) 環境配慮商品の導入をすすめる</p>

2014年度の取り組み状況

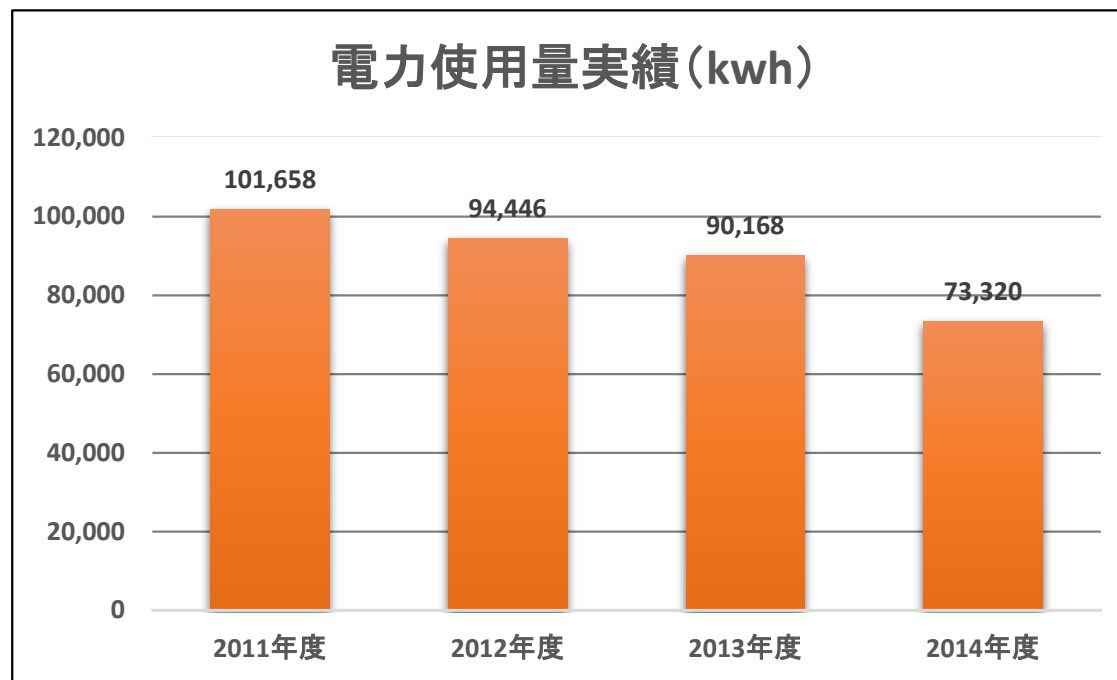
2014年度の主な環境マネジメントプログラムの達成状況は以下の通りです。

1. 電力の使用量削減

2014年度は2013年度使用実績を基準に数値を維持する。

クールビズの早期実施、温度計によるエアコンの温度管理や切電記録記入による管理などを行いました。目標の2013年度使用実績を基準に数値を維持することは達成できました。対2013年度実績比18.7%の削減、対2012年度実績比では22.4%の削減を実現しました。

月ごとの使用量実績ではすべての月について2013年度実績を7%~28%程度下回っており、エアコンのフル稼働で、例年消費電力が増加する夏期においても7月で28%、8月で19%、9月で25%の削減（2013年度同月比）を実現しました。全館において蛍光灯のLED化（2014年1月）、そして2014年が冷夏だったことも影響していますが、職員の節電意識の向上もあったと考えられます。

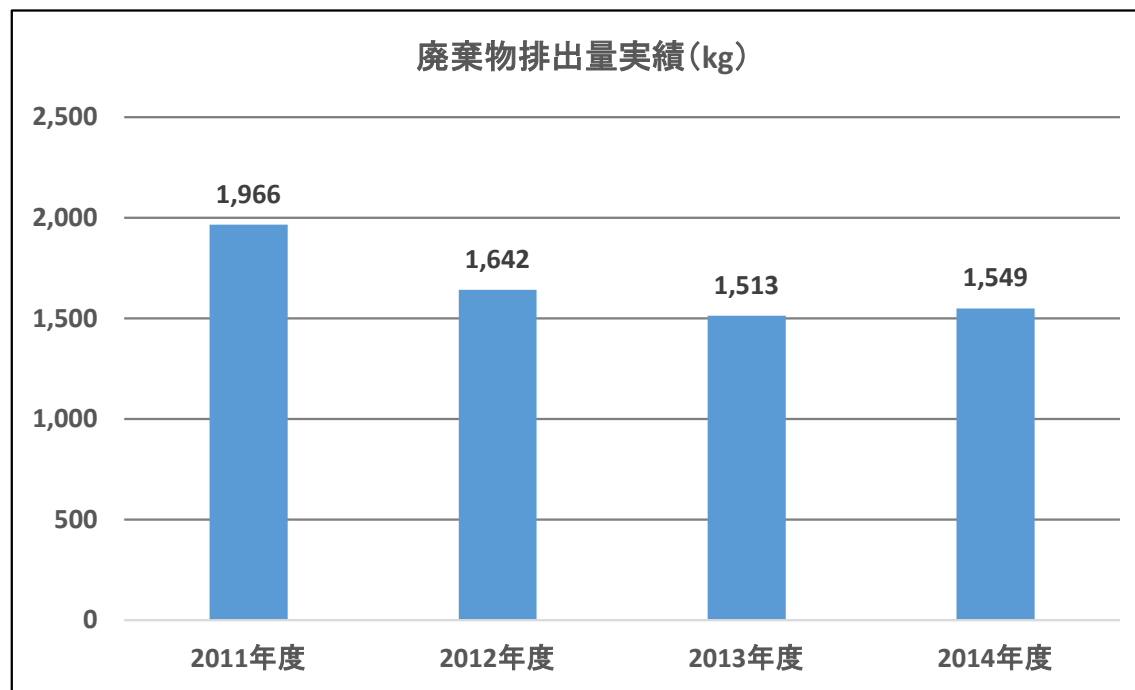


2. 廃棄物排出量の抑制

2014年度は2013年度排出量を基準に数値を維持する。

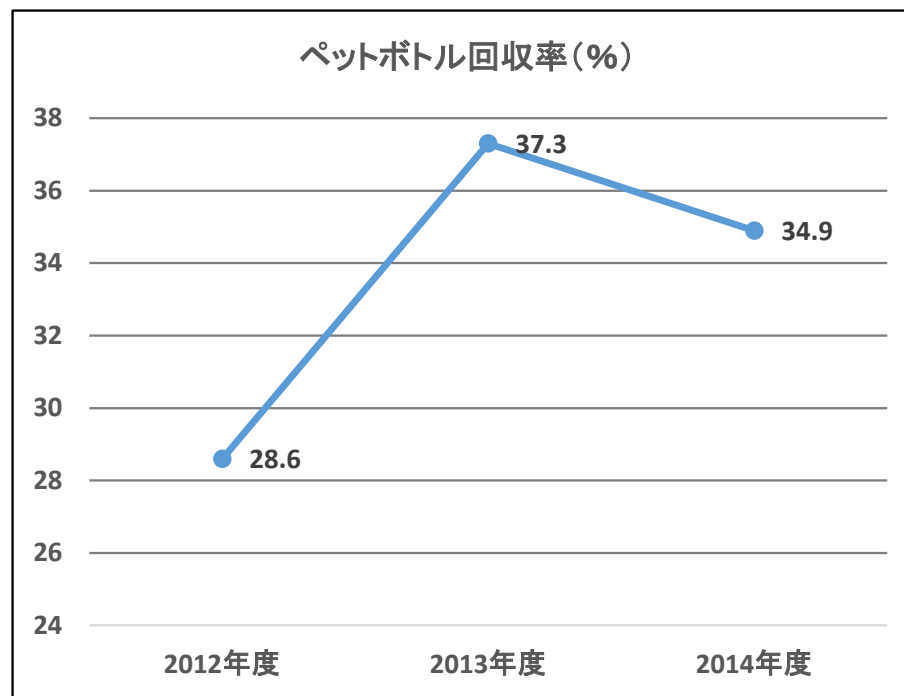
再利用、リサイクルの徹底を呼びかけました。目標の2013年度使用実績を基準に数値を維持することは達成できませんでした。2014年度排出量は2013年度排出量に対し、2.4%とわずかではありますが増加しました。月別では、テストキッチンの冷凍庫整理で試供品を整理処分した8月で2013年度排出量の2倍以上となり、目標を大きく上回りました。

なお、コピー用紙リサイクルは事務所全体に浸透しています。さらに古紙やペットボトルの分別回収についても的確な運用が行われています。



3. ペットボトルのリサイクル

目標（リサイクル率を供給対比で35%以上にする）に対してやや下回りましたが、年間を通じてほぼ計画通り推移しています。



4. 紙の削減（SEQ の利用促進）

SEQ の受診時に Web 受診を常に呼びかけ、紙の削減をすることを目的としました。

2013 年度 11 月～12 月期にあった Web 受診の大量受診（550 件）が、2014 年度では見込めなくなったこともあり、目標（Web 受診を全受診対比で 24.5%にする）に対してやや下回り、22.4%となりました。

今後も、Web 受診の呼びかけを継続して行い、取り組み会員生協を広げる活動を続けていきます。

5. 食中毒など食品事故の予防

毎月、会員生協食堂をグループメンバーが訪問し、衛生項目の点検を実施、改善指導を行うことや、毎月の腸内細菌検査実施、外部機関による食堂施設衛生検査実施し、指摘事項については対応策実施の報告書提出を求め、確実に改善を行う、また、店長会議での食品衛生学習会・会員生協での食品衛生勉強会を実施することを目標に据えました。

結果、会員生協店舗訪問時の衛生検査実施は 43 回実施し、目標（40 回）は達成できました。また、腸内細菌検査の実施状況を理事会・食堂店長会議で報告すること、外部機関による施設衛生検査も実施し、衛生管理のさらなる徹底に努めました。

今後も、取り組みを継続していきます。

6. 九州産食材の採用

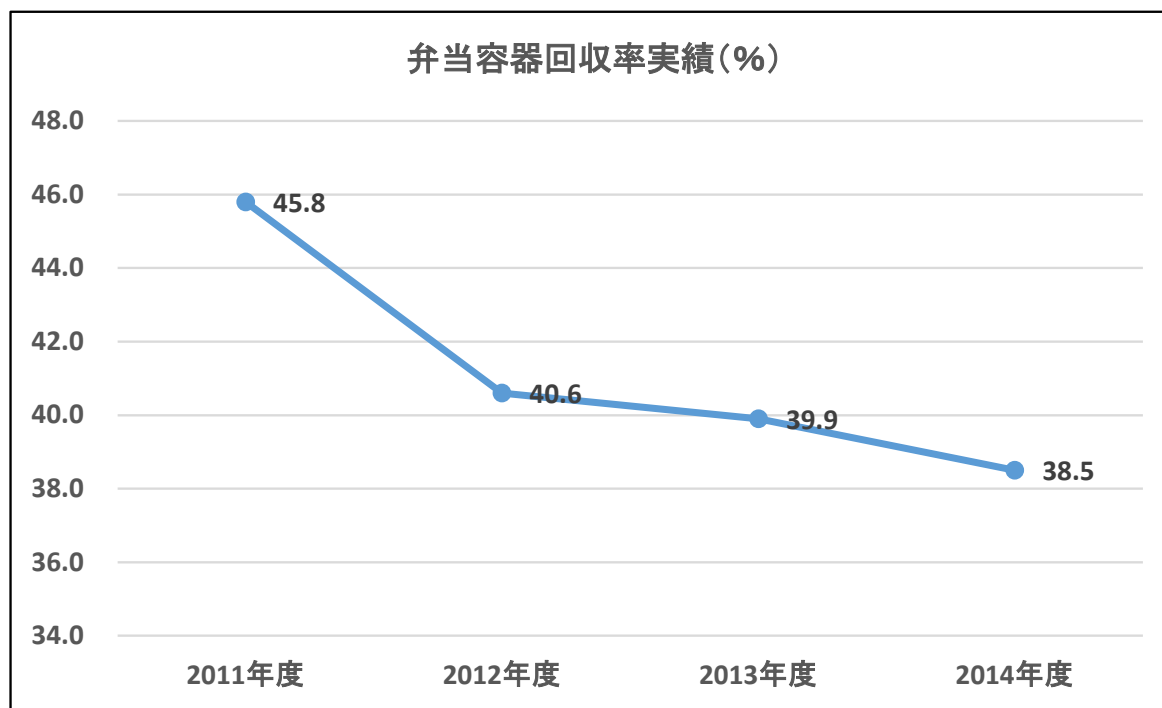
食材採用の基準を満たす商品、取引先を調査し、産地・加工工場の視察調査を行い、新規に 5 アイテムの採用を目指しました。4 月にあじのたたき柚子風味、9 月に福岡県産柿の採用ができましたが、それ以外の採用を目指した食材開発は試作にとどまり、メニュー提案ができませんでした。

今後、採用のタイミングを考え、計画、食材選定を早める対策を検討し、取り組みを継続していきます。

7. 弁当容器リサイクル

2014 年度は回収率を弁当容器納品・回収業者のデータ（重量）から算出することとしました。各大学生協の回収状況は、理事会、食堂店長会議で報告していますが、目標は「弁当容器のリサイクル活動を通じて、環境を保護することと保全する取り組みの重要性を組合員に広く知ってもらおう。」こととしました。回収率の実績は 38.5%となり、目標の 43.0%は達成できませんでした。

今後、高い回収率を実現するためには、回収実績の低い会員生協ごとに点検、対策が必要です。



8. 環境に配慮した商品選定

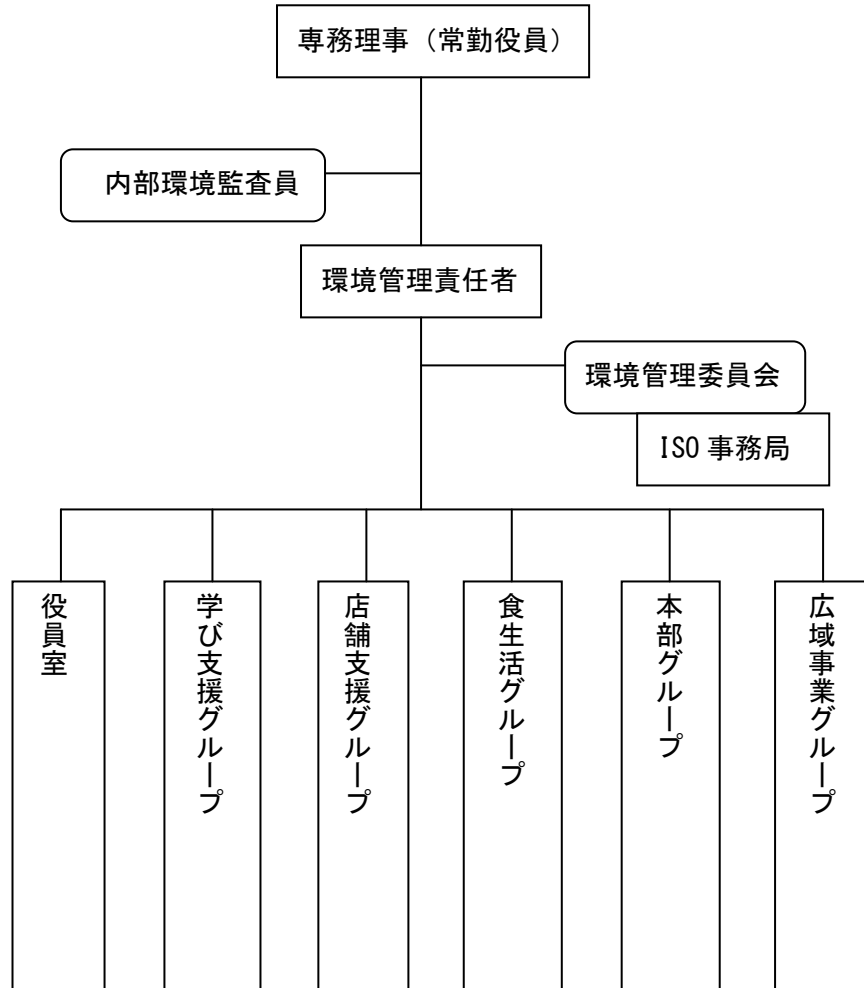
大学生協が環境に配慮した事業を進めている一環として、新生活用品である家具製品の接着剤について、環境配慮の度合いを利用者に提供し、環境配慮商品の導入を進めるのが目的です。2014年度の目標としては、環境配慮の度合いをカタログ、Webを通じて利用者に伝えることでした。

関係する取引先への情報提供依頼、関係する委員会等での提案、そして家具類で使用する接着剤について星の数で環境配慮の度合いを表記することができ、目標は達成することができました。

今後、環境配慮商品の採用数等について数値目標を策定し、より環境に配慮した事業を展開できるようにしていきます。

環境管理体制

九州事業連合の環境管理体制は以下の通りです。



*環境管理委員は、各グループリーダーが兼務しており、環境管理委員会での決定事項の速やかな実行を図っています。

九州事業連合の概要

- 1) 所在地：福岡市博多区千代 2-21-1 公団ビル 1 階
- 2) 大学生協九州事業連合の組織、規模
 - ・役員 理事長：佐藤宗治(非常勤役員)
専務理事：小林陸生
 - ・設立 1991年10月10日
 - ・出資金 1億1,940万円(2015年2月末現在)
 - ・事業高 108億6,674万円(2014年度)
 - ・会員数 24会員、1準会員
(準会員は立命館生協アジア太平洋大学店)
 - ・総組合員数 13万8,140人(2015年2月末)
- 3) 大学生協九州事業連合事務所に従事する職員数
 - ・役員1名、正規職員33名
 - ・嘱託職員、定時職員等 44名 合計77名
- 4) 大学生協九州事業連合事務所の特徴
 - ・敷地面積 623.21㎡
 - ・駐車場スペース 普通乗用車6台分

「環境報告書」のお問い合わせ先

大学生協九州事業連合 ISO事務局

〒812-0044 福岡市博多区千代 2-21-1 公団ビル 1 階

TEL:092-631-5131 FAX:092-651-0853